

健康とくらしの安全を科学する。



# 富山県衛生研究所

TOYAMA INSTITUTE OF HEALTH

衛生研究所は、県民の皆さんの生命と健康を守り、  
くらしの安全を確保するための「地域の科学的・技術的中核機関」として、  
試験検査、調査・研究、研修・技術指導及び  
公衆衛生情報の収集・提供の業務を行っています。

## 試験検査

- ・感染症の拡大防止、食中毒の原因究明のための病原微生物の検査
- ・食品、飲料水等の検査
- ・温泉成分等の検査
- ・染色体検査、新生児先天性代謝異常等の検査
- ・イタイイタイ病が発生した地域の住民健康調査

## 調査・研究

- ・感染症の発生動向と予防（インフルエンザ、結核など）
- ・食中毒防止対策（O157、ノロウイルスなど）
- ・くらしの安全（レジオネラ属菌、衛生動物など）
- ・食品の安全（残留農薬、食品添加物など）
- ・母子保健対策（先天性代謝異常、染色体異常）
- ・健康増進と疾病予防  
（生活習慣病等の予防、環境汚染物質の影響調査など）

## 研修・技術指導

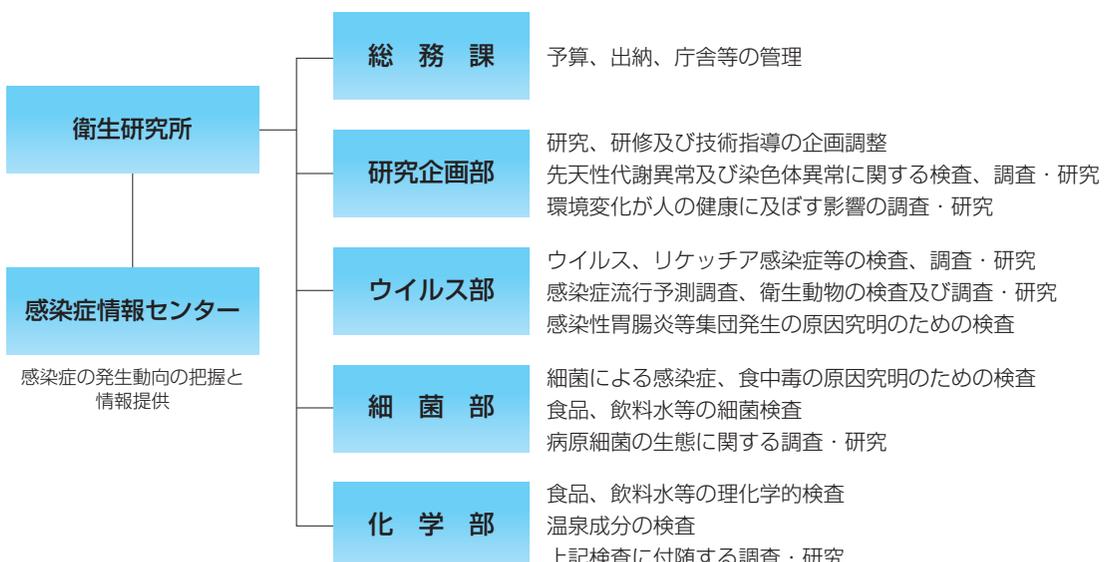
- ・厚生センター職員等に対する技術研修
- ・水道水質検査機関及び食品衛生検査施設を対象とした外部精度管理調査<sup>1)</sup>の実施
- ・食品衛生検査施設に対する GLP<sup>2)</sup> 指導
- ・海外研修生の受入れ など

## 公衆衛生情報の収集・提供

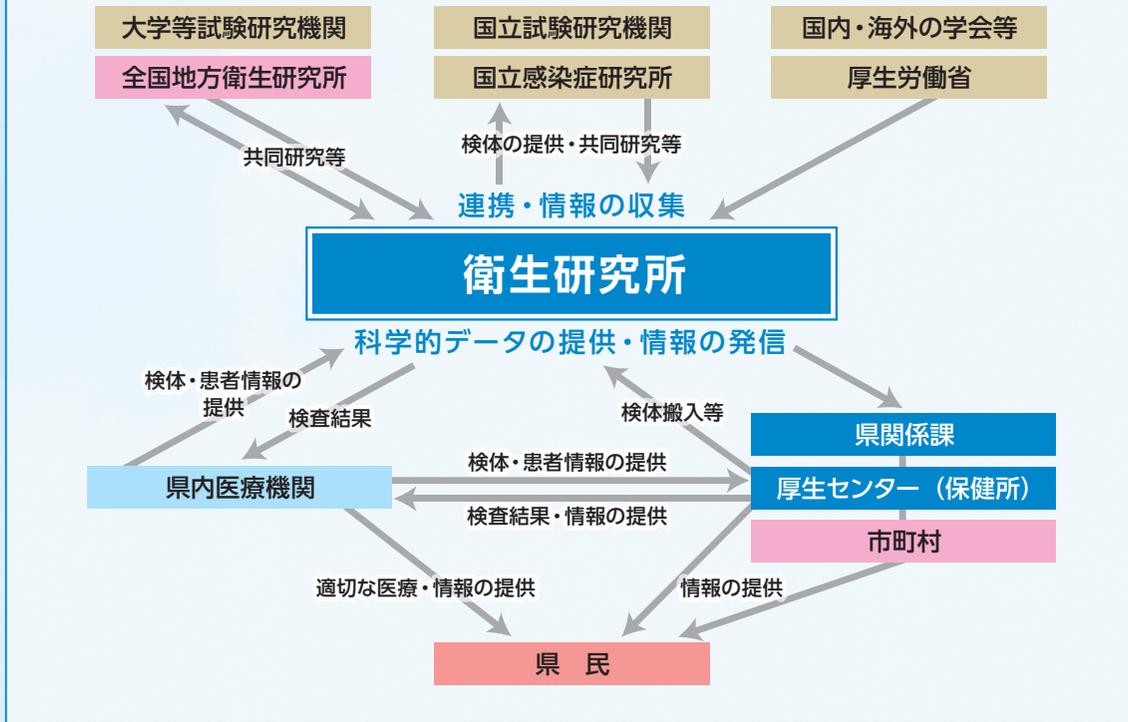
- ・富山県感染症情報センターの運営
- ・「とやま衛生研究所だより」の発行
- ・ホームページによる公衆衛生情報の提供

1) 同一の試料を複数の試験検査機関で測定し、その測定結果を比較することにより測定値の正確性を評価するもの  
2) 食品等の試験検査の信頼性を確保するため、食品衛生検査施設が守らなければならない基準

## 組 織



## 関係機関との連携体制



## 富山県感染症情報センター 感染症の発生状況をお知らせします

**富山県感染症情報センター**  
富山県感染症情報センター(富山県感染症情報センターは富山県衛生研究所にあります。)  
平成25年 第32週 8月5日(日)～8月11日(日) 8月14日 更新(毎週更新)

**トピックス**  
今週の感染症情報はこちら **感染症情報速報**  
世間では熱帯性ウイルス(Chikungunya)の発生について(確定事例)  
季節性インフルエンザ(流行状況) (県保健課より)  
結核(結核菌)の発生状況(注) (保健課より)  
インフルエンザの発生状況(注) (保健課より)  
登革熱(注) (保健課より)  
日本脳炎、ブドウ球菌(腸炎菌) (保健課より)  
腸炎菌(腸炎菌)の発生状況(注) (保健課より)

**感染症発生動向速報**  
【平成25年第32週(8月5日～11日)】

**がんばらう！日本**  
インフルエンザ  
●インフルエンザの流行は今年も、早く、全国的に発生しています。富山県でも、インフルエンザの流行は、早く、全国的に発生しています。富山県でも、インフルエンザの流行は、早く、全国的に発生しています。

**感染症をいって、楽しい水遊び！**  
●感染症の発生状況  
●感染症の発生状況  
●感染症の発生状況

種別	発生数	発生率	発生率
インフルエンザ	4,118	7.45	7.45
インフルエンザ(季節性)	3,137	5.79	5.79
インフルエンザ(季節性)	3,137	5.79	5.79
インフルエンザ(季節性)	3,137	5.79	5.79
インフルエンザ(季節性)	3,137	5.79	5.79

感染症の発生状況をいち早くお知らせします

「今、県内ではどんな感染症が流行しているの?」「今シーズン、インフルエンザは何型が流行っている?」「感染症にかからないようにするにはどうしたらいい?」…こんな情報を知りたいと思ったことはありませんか?

富山県は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、国と連携して100種類以上の感染症の発生動向を常に把握しています。県内医療機関から厚生センター・保健所に報告された感染症の情報は、オンラインで県と国に報告され、そして全国の感染症の発生動向として情報提供されます。

富山県感染症情報センターでは、県内の感染症の発生状況をリアルタイムに解析し、ホームページやメーリングリストを利用して「週報」として情報提供しています。

感染症の予防に関する情報についてもわかりやすく解説しています。ホームページは「富山県感染症情報センター」で検索して下さい。

## 研究企画部 疾病の検査や公衆衛生情報の収集・解析・発信により、県民の健康を守ります

研究企画部は、令和2年4月に、がん研究部と環境保健部を統合して設置されました。これまで両部で実施してきた試験検査、調査研究に加えて、研究所全体にわたる研究や技術指導の企画調整、研究成果の広報、健康危機管理情報の収集・評価・提供等を実施しています。

### 新生児先天性代謝異常検査・染色体検査

新生児の先天性な代謝異常症・内分泌疾患を早期に発見し、障害発生を未然に防止するための検査を行っています。

不妊症の方の血液や不育症流産検体の染色体を検査し、その原因の解明に努めています。

さらに、これらの検査法の開発・改良などにも取り組んでいます。

### 神通川流域カドミウム汚染地域住民健康調査

昭和42年から毎年、イタイイタイ病が多発した神通川流域に居住する住民の健康調査を行っています。尿や血液検査を行うとともに、調査データを管理しています。



新生児の踵からの採血



神通川流域住民健康調査

## ウイルス部 感染症の原因ウイルスを究明し、県民の健康を守ります

ウイルス部では、感染症を引き起こすウイルスを対象に、検査や調査・研究を行っています。また、蚊やダニなどの節足動物が媒介する病原体についても検査を行っています。

### ウイルス・リケッチア検査

県内の医療機関や厚生センター・保健所から依頼を受けて、患者さんの血液や便などを検査し、原因ウイルスやリケッチアを調べています。新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、風疹ウイルス、エンテロウイルス、ノロウイルス、デングウイルス、つつが虫病・日本紅斑熱リケッチアなどを対象としています。

### 食中毒の原因ウイルス検査

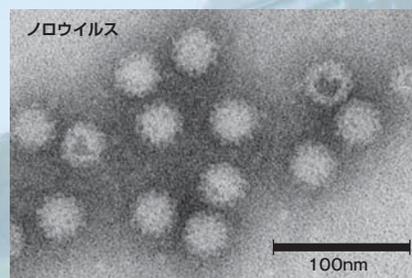
食中毒の発生時には、患者さんなどの便について検査を行っています。原因ウイルスや感染経路を特定することで、感染拡大の防止に役立っています。

### ウイルス感染症の流行状況と抗体保有に関する調査

県民のウイルスに対する抗体保有状況や、人やウイルスを媒介する動物の感染状況を調査しています。そして、感染症の流行予測と予防接種の効果的な運用に役立っています。

### 衛生動物に関する調査研究

病原体を媒介する蚊やダニなどの生息状況や病原体の保有状況を調査しています。そして、節足動物媒介性感染症の予防対策に役立っています。



ノロウイルスの電子顕微鏡写真  
(100nm=1/10000 mm)

## 細菌部 細菌等による感染症・食中毒から県民を守ります

細菌部では、感染症・食中毒の原因となる病原細菌を対象に、人の検体、食品、飲料水、環境水等の検査や調査・研究を行っています。食中毒が発生した場合には、感染源、感染経路など原因究明のための検査をしています。

### 感染症や食中毒の原因究明のための検査

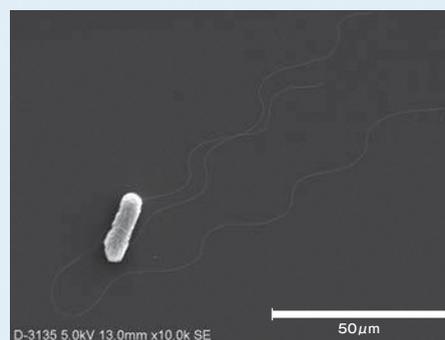
感染症や食中毒が発生した際に、患者の便や喀痰、感染源が疑われる食品、水、環境などから分離される菌について、遺伝子検査等により関連性を調べます。

### 食品、飲料水等の細菌検査

食品、飲料水などの細菌検査を行い、食品衛生法や水道法の基準を満たしているかを調べています。また、食品などについて依頼や苦情があった場合も、関係機関と連携して検査しています。

### 病原細菌に関する調査研究

感染症の発生予測や発生予防に役立てるため、人、食品、環境中の病原細菌の分布状況、病原性や抗原性の変異などについて調査しています。対象となる病原細菌は、腸管出血性大腸菌、サルモネラ属菌、カンピロバクター、レジオネラ属菌、結核菌、薬剤耐性菌や寄生虫などです。



腸管出血性大腸菌の電子顕微鏡写真  
(10µm=1/100mm)

## 化学部 化学物質による健康被害の発生予防や拡大防止に役立っています

化学部では、生活環境の安全性を確認するため、有害となる化学物質の検査や調査・研究を行っています。

### 食品、飲料水などの検査

- ・「富山県食品衛生監視指導計画」に基づき、県内に流通している食品や農産物について、残留農薬、成分規格、食品添加物等の検査を行っています。また、食物アレルギーの原因物質の確認検査を行っています。
- ・自然毒（フグ毒、貝毒等）や化学物質（農薬、ヒスタミン等）によるとみられる食中毒が発生した場合、原因物質究明の検査を行っています。
- ・「富山県水道水質管理計画」に基づき、水道水源の水質監視のための検査を行っています。また、県内で飲用されている「とやまの名水」やゴルフ場周辺の飲用井戸の水質調査を行っています。
- ・温泉成分の分析および県内の温泉資源保護のための調査を行っています。
- ・衣料品や住宅用洗剤などの家庭用品中の有害物質の検査を行っています。



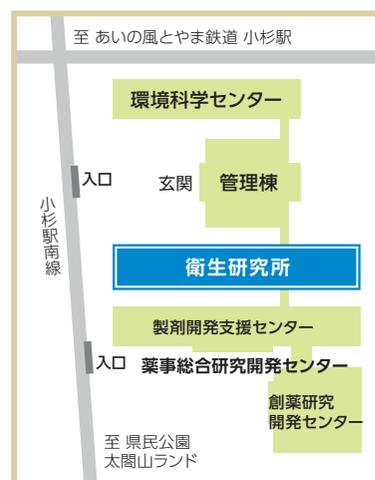
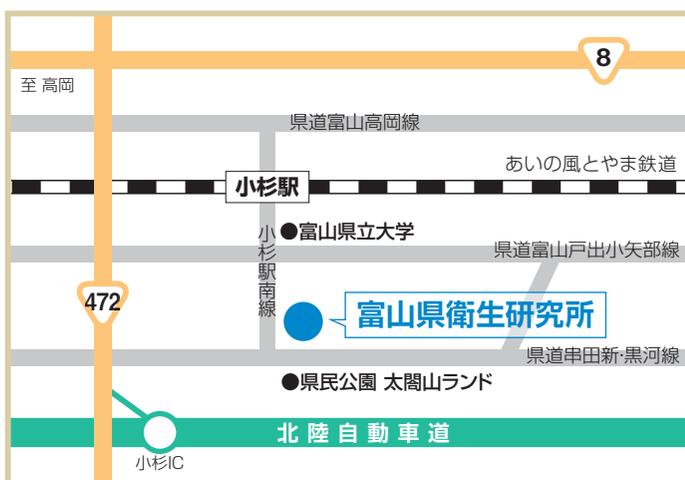
農薬等の分析に用いるGC/MS

### 検査法の開発、改良などの研究

- ・よりよい検査法を確立するため、現在使用している検査法の改良や新たな検査方法の開発を行っています。
- ・検査の信頼性を確保するため、食品、飲料水検査方法の性能評価を行っています。
- ・化学物質や病原性微生物を現場で測定可能とするポータブル型分析装置の開発を行っています。

## 沿革

- 昭和35年 4月 公衆衛生課内に設置された細菌検査所及び衛生検査室を統合し、  
富山市大手町に富山県衛生研究所として発足
- 昭和36年 4月 ウイルス血清課、細菌課、食品衛生課、生活環境課、庶務係の4課1係制となる
- 昭和37年 11月 庁舎を増築
- 昭和39年 10月 公害調査課を新設し、ウイルス病理課、細菌課、食品衛生課、生活環境課、庶務課の6課制となる
- 昭和44年 4月 病理生化学部、微生物部、食品科学部、公害調査部、庶務課の4部1課制となる
- 昭和46年 4月 公害調査部が公害センター（現 環境科学センター）に移管され、病理部（がん研究部）、  
ウイルス部、細菌部、化学部、環境保健部、庶務課（現 総務課）の5部1課制となる
- 昭和57年 6月 射水郡小杉町中太閤山（現 射水市中太閤山）に移転
- 平成12年 7月 富山県感染症情報センターを開設
- 令和 2年 4月 がん研究部と環境保健部を統合し、研究企画部を設置



### 交通案内

あいの風とやま鉄道 小杉駅から 車で 約7分  
JR富山駅から 車で 約30分  
JR高岡駅から 車で 約25分

小杉インターチェンジから 車で 約10分  
富山西インターチェンジから 車で 約15分  
富山空港から 車で 約30分

## 富山県衛生研究所

〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1 TEL 0766-56-5506 FAX 0766-56-7326

ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/1279.htm>